



盛大な夏祭りの様子

あの夏の日の思い出

事例の概要

相武台前町内会自治会連合会（以下、相武台前連合）は、相武台前駅を中心に、15自治会2,300世帯が加入する連合組織です。世帯数が多い点『急速に発展した地域』と『昔ながらの地区』が混在する点が、この連合の大きな特徴となっています。

異なる出身・世代の多くの人びとを、自治会連合として1つにまとめ、協力し合う地域とすることは容易ではありません。防犯パトロール・清掃・社会福祉など活動は多岐に渡りますが、いずれの活動においても『人と人との交流』を最大のテーマに掲げ、地域が一体となって取り組むよう心掛けています。「ただ活動をすれば良いというものではない、地域の人たちが1つになってみんなで活動するから意味があるんだ」との会長の発言は、自治会の真の存在意義を考えさせられる、非常に深く重い言葉だと感じました。



子ども御輿

特徴・ポイント

そんな相武台前連合の夏祭りは、例年7月下旬に1丁目公園で開催され、多くの関係者・来場者でにぎわいます。商店・スポーツチーム・婦人会など様々な団体が店を連れ、太鼓隊・鼓笛隊が練習の成果を披露し、会場はまさに交流の場そのものとなります。来場者が太鼓隊に教わりながら一緒に太鼓をたたき、子どもが年配者の真似をしながら盆踊りを楽しみ、日頃交流を図りづらい人びとが『夏祭り』という同じ空間を共有しています。

また、運営費の捻出に苦慮する自治会も少なくありませんが、こ

ちらの祭りは地域内の住民の方々や商店街をはじめと



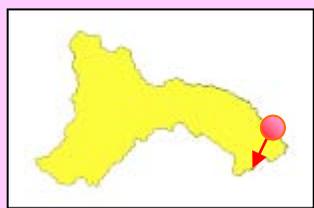
防犯パトロールの様子

課題・展望

する多くの団体からの協賛金と、たくさんの方からの売上金のみで運営されています。そして、日頃から交流のある付近の連合と協力し、お互いの祭りの時にはお互いで防犯パトロールをするなど、交流を重視する相武台前連合らしい運営がなされています。

しかし、そのような相武台前連合であっても、他の自治会同様『将来の担い手』確保に不安を抱えています。そこで丸塚会長は、若い現役世代に無理な参加を強制するよりも、日常的な連絡を密にすることで信頼関係を構築するよう心掛けています。夏祭りにおいても工夫を重ね、御輿・鼓笛隊・じゃんけん大会など子ども中心の企画を多く用意し、子ども達が自治会活動を通じて心豊かに成長できるよう努力しています。こうした「心」を大切にする姿勢が、現在から未来へ、ずっと続

団体の基礎DATA



団体名◇相武台前町内会自治会連合会
 創立年◇平成14年(法人化)
 会員数◇2,378世帯
 代表者名◇丸塚 幾男さん



問い合わせ⇒丸塚 幾男さん
 電話 046-253-5677



じゃんけん大会と鼓笛隊

く『人間味のある自治会活動』を作り上げるのだと感じました。

体験・取材した職員から一言！！



高齢化が進む時代ではありますが、次の担い手となる子ども達にスポットを当てたお祭りの取り組み方に工夫をされているところが印象的でした。また、お祭りの活動を通じた地域内外と交流を図り、地域全体を盛り上げようとしているところに感心いたしました。
 (津久井町地域自治区事務所 内山)



「無理に活動をお願いするよりも、信頼関係を築きたい」という丸塚会長。相武台前連合がテーマとし、大切に守り続けているものは、忙しい現代の人びとが忘れかけているものでもあるのではないかと感じました。(道路管理課 小山)



相武台前連合の活発な活動を支えている会長の情熱に、圧倒されました。取材させていただきました夏祭りは、次世代を担う子どもたちのイベントが多く企画されており、子どもたちに対する熱い想いが伝わってきました。(生涯学習課 田中)